



「旧北国街道海野宿」は、江戸時代からの歴史的街並みが七〇〇メートルにわたって残されている。東部町では、この街並みとの調和を図り、歴史的空間を再現するため、保全・整備事業を進めてきた。整備にあたっては、景観の妨げとなる電柱・電線の移設をはじめ、海野格子をイメージした街路灯の設置、地場産野面石を使用した水路・洗い場の整備、水路

横断用の石張り床版橋の設置などを行った。路面は、車道部が地元産玉砂利を利用した土色の自然石舗装、歩道部は地元の土と碎石ダストによる土道舗装とし、土の感触が味わえるものとしている。また、植栽もシダレヤナギやシダレザクラなどの情緒ある木々を取り入れている。整備後は、住民の街並み保存意識も高まり、テレビの撮影にも利用されている。

DATA・BOARD 15

- ①長野県小県郡東部町本海野
- ②延長：700m、幅員：10m（車道5m、水路1m、植樹帯1m、歩道3m）
- ③洗い場、街路灯ほか
- ④地場産玉砂利、野面石、植栽ほか
- ⑤海野宿ふれあい祭



15

旧北国街道海野宿

●ふるさとを紹介する道